

IDL 8.8

リリースノート

Note

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/IDL.aspx>

このリリースノートは次の項目に分かれています。

- IDL8.8 のサポートプラットフォーム
- IDL8.8 の新機能
- IDL8.8 のライブラリアップデート
- IDL8.8 の下位互換性の問題
- IDL8.8 で修正された問題

IDL8.8 のサポートプラットフォーム

IDL8.8 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。IDL8.7 SP 2 までとは、サポートバージョンに変更があるため、ソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン ^b
Windows	Intel / AMD 64-bit ^a	Windows	10
Macintosh	Intel 64-bit	OS X	10.14, 10.15 ^c
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 3.10.0 glibc 2.17

a: IDL8.5 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの IDL を起動する場合は、「ENVI5.6/IDL8.8 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI / IDL の起動方法」をご確認ください。

b: サポートバージョン中の記載は、ENVI / IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されません。

c: Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.7.11 にて動作確認されています。

推奨環境：

ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

また、現行の ENVI の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	4GB
メモリ	8GB
CPU	最小 2Core 推奨 4Core 以上

ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー (Flexnet License Server) を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008, 2012 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16

また、現行の Flexnet License Server 2017.08 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	500MB
メモリ	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

その他：

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

IDL8.8 の新機能

詳細は以下のページをご参照ください。

<http://www.harrisgeospatial.com/docs/WhatsNew.html>

IDL8.8 のライブラリアップデート

- ・以下のサードパーティライブラリが新バージョンに更新されました。
 - ANTLR, 2.7.5
 - Apache Commons Logging, 1.1.3

- Chromium Embedded Framework, 79.1.35
- CLL, 4.0.0
- cURL, 7.66.0
- DXF, 2.003
- Eclipse CVS Client, 1.4.1200.v20191210-0610
- HDF5, 1.10.5
- IDL Python Bridge now supports 3.7 and 3.8
- JPEG was replaced with JPEG-turbo library 2.0.3
- libxml2, 2.9.9
- netcdf, 4.7.1
- OpenSSL, 1.1.1d
- Proj 6.2.0

• 以下のサードパーティライブラリが今回のリリースから追加されました。

- AdoptOpenJDK 11.0.6
- AdoptOpenJDK JRE 11.0.6
- ecCodes 2.15.0
- Esri Projection Engine and data 10.7.0
- GCTP2 2
- jaxb-api 2.3.1
- Mesa Open GL Utility 9.0.1
- MGRS 1.3.4
- NumPy 1.18.1
- Openmp 9.0.1
- TBB 4.4.5
- TinyXML2 8.0.0
- wglext.h 23

• 以下のサードパーティライブラリが今回のリリースから除外されました。

- Anaconda
- Apache HTTP Client
- CBLAS
- Apache Commons Validator
- F2CMath
- GEOS
- Google GSON

- GRIB API
- libconv
- MODTRAN
- ogr2ogr
- SpatialLite
- Zulu

IDL8.8 の下位互換性の問題

IDL8.8 では Java11 を使用します。以前のバージョンの IDL プログラムに Java8 のコードがあった場合、Java11 を使用して再コンパイルが必要になる可能性があります。

IDL8.8 で修正された問題

ID	解 説
IDL-68845	Macintosh で IDL ワークベンチを起動すると、Java バージョン 1.6 のインストールを促された。
IDL-70356	LMFIT のドキュメントのサンプルコードは収束しなかった。
IDL-70653	UTM 投影法の説明に誤情報が含まれていた。
IDL-70658	DICOM ファイル複製のサンプルドキュメントを修正した。
IDL-70666	IMSL_POISSON2D のヘルプドキュメントの Rhs_Bc パラメータについて誤記があった。
IDL-70687	INT_2D 関数の PQ_LIMITS と AB_LIMITS 引数について、ORDER キーワードに関するより明確なドキュメントが追加された。